

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 和笑

**目標達成計画書**

作成日: 平成 23 年 03 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	市町村との連携	市町村の担当窓口や包括支援センターに、出向き、連携を図り、地域密着型サービス事業を発展させていく。	地域の独居老人の見守りや、経験を活かした介護相談事業等、行政と協働して関わっていく。	12ヶ月
2	35	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	ホームで出来ること、出来ないことを明示し、利用者、家族に説明し、承認してもらう。また、利用者や家族が安心して過ごせる場所の確保が出来る体制を維持していく。	ターミナルケアの指針を作成し、利用者の重度化に素早く対応し、家族や関係者と方針を共有し、協力関係の強化を目指していく。	12ヶ月
3	37	災害対策	併設の宅老所、デイサービス、と連携し、防災訓練の実施と役割分担の明確化。	地域住民参加の避難訓練を実施し、いざという時に備えていく。また、電気、水道、ガス等が使用不可の災害時に、非常食等の備蓄を用意していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。